

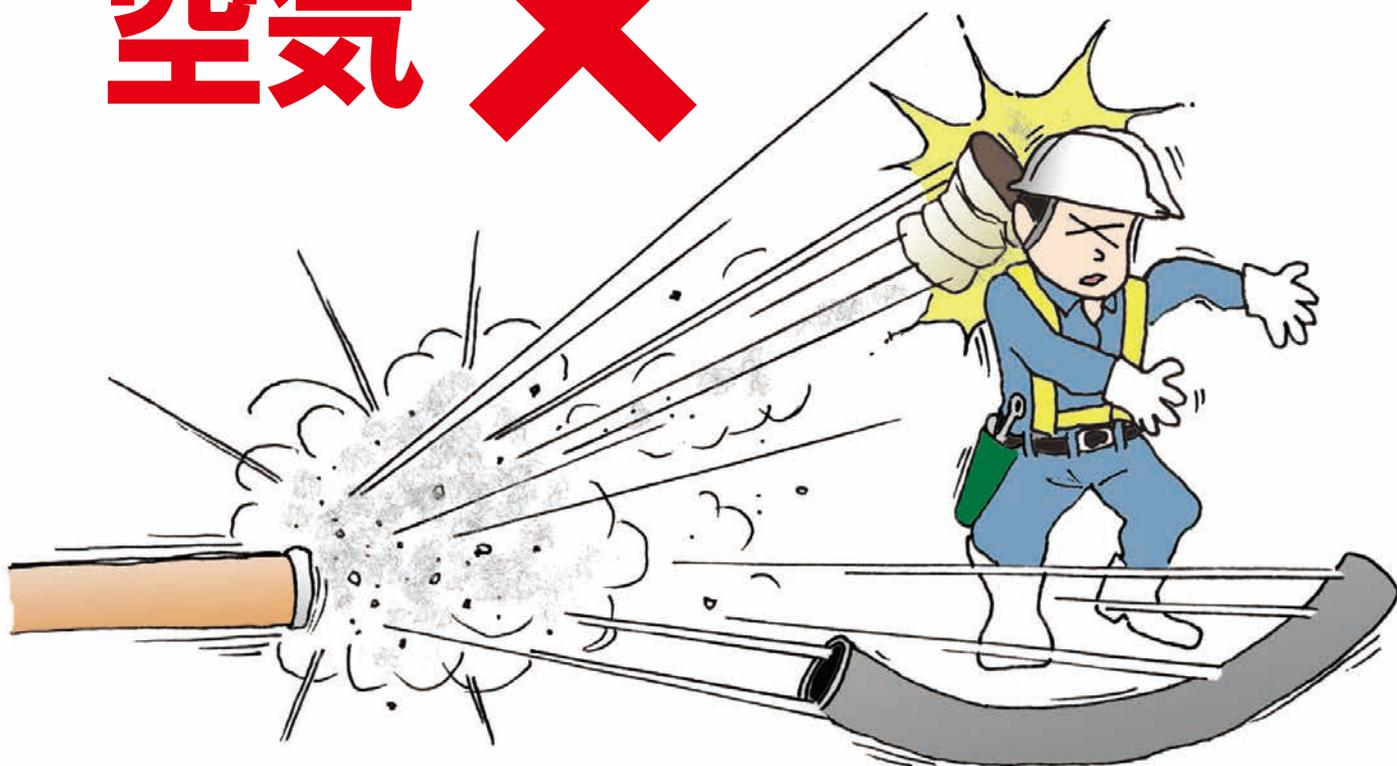
『コンクリート圧送施工業務』 安全衛生のポイント

洗浄作業・撤収作業の注意

(1) 輸送管の洗浄方法の注意

輸送管の洗浄方法には、水洗浄と空気洗浄の2通りがありますが、空気洗浄は圧縮された空気が爆発現象を起こして、重大災害につながるおそれがあるため、水洗浄で行うようにしてください。

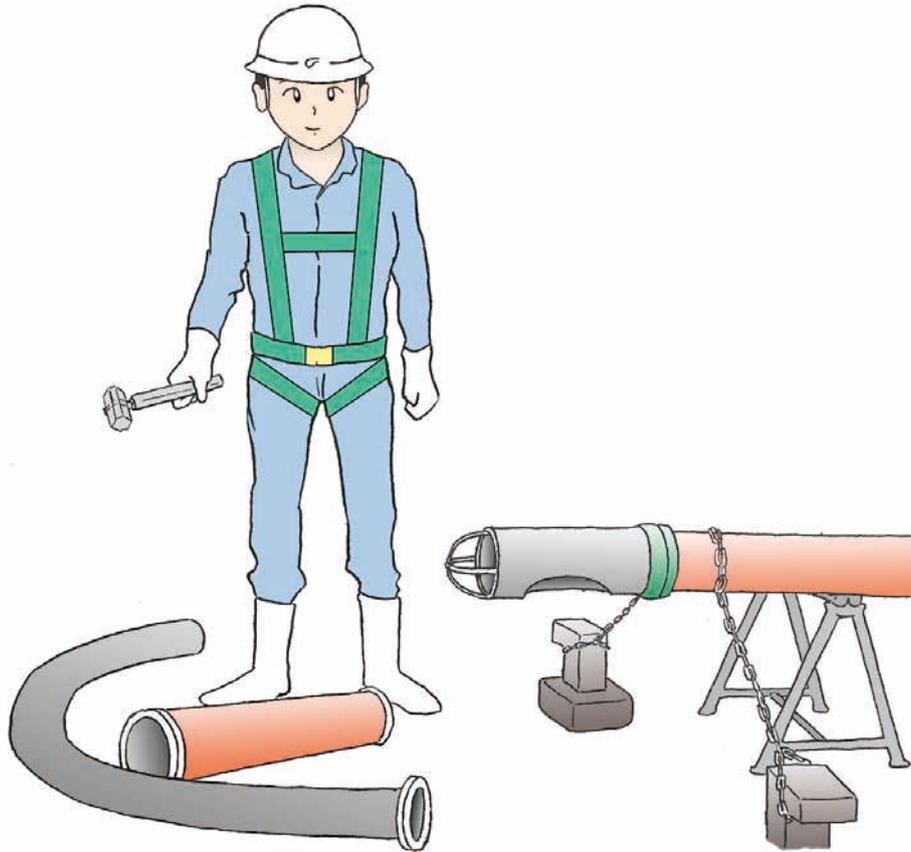
空気 ×



空気洗浄中の圧縮された空気の爆発現象による災害例

(2) 輸送管は先端ホースを外して洗浄する

輸送管内の洗浄作業は、安全のため先端ホースを取り外し、クリーナ受けを取り付け、ワイヤやチェーンなどで堅固な箇所に確実に固定して行います。



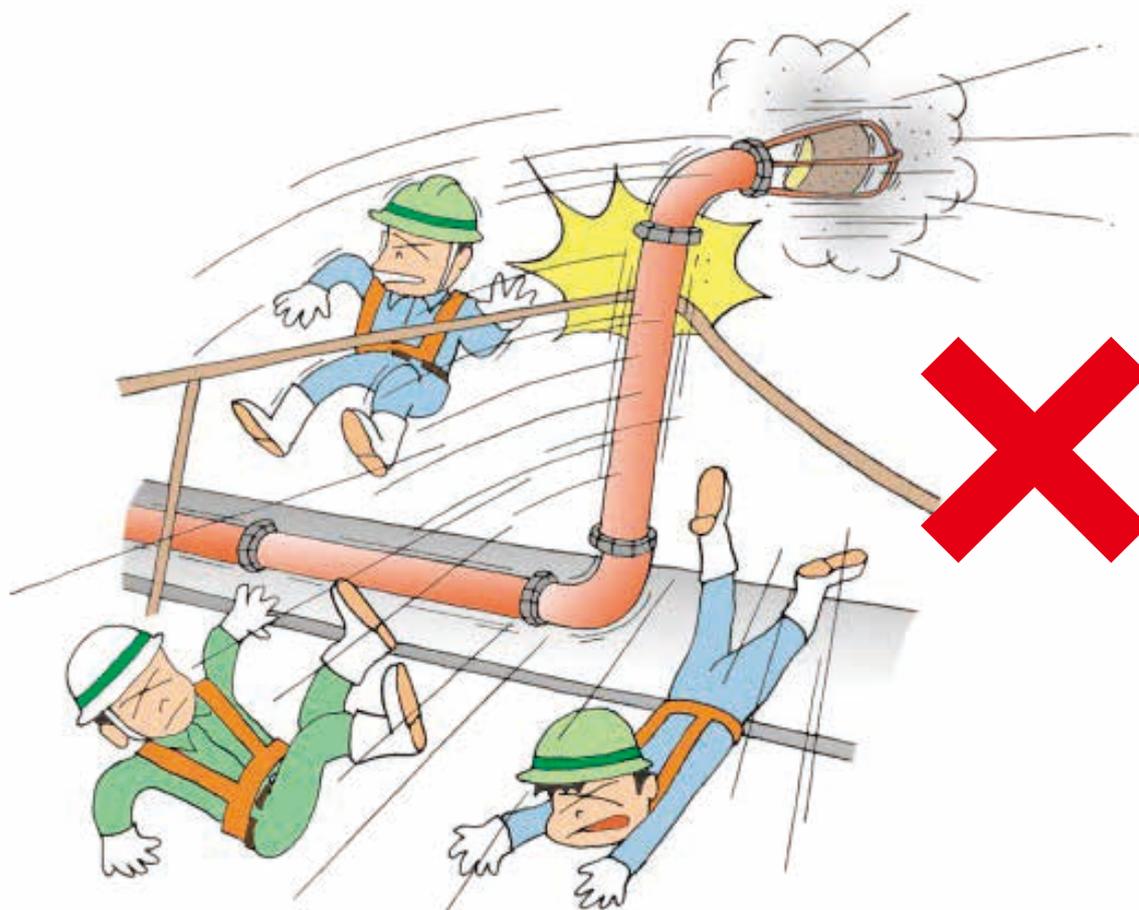
先端ホースの取外しとクリーナ受けの取付け



クリーナ受けの例

(3) 輸送管の先端部にベント管は使用しない

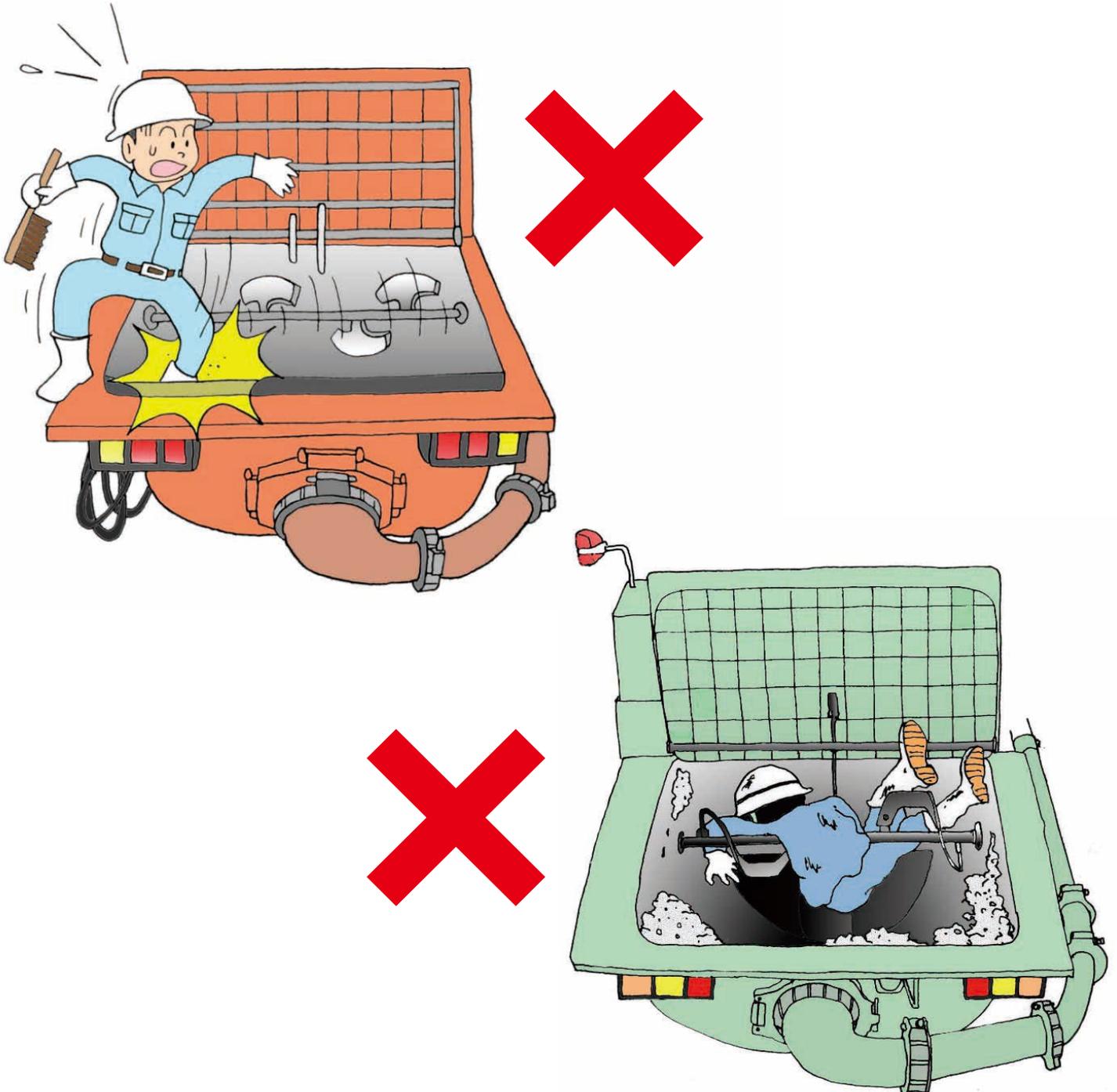
洗浄作業で、輸送管の先端部にベント管（曲り管）を使用していると、先端部から洗浄用クリーナが出るときの衝撃で、輸送管がはね上がったり暴れるおそれがあるため、使用してはいけません。



輸送管の先端部にベント管を使用したことによる災害の例

(4) ホッパ洗浄時の注意

ホッパの洗浄作業は、必ずアジテータ（かくはん羽根）を止めてから行います。アジテータを止めずに作業を行うと、アジテータに手足を巻き込まれて重傷・死亡災害につながるおそれがあります。

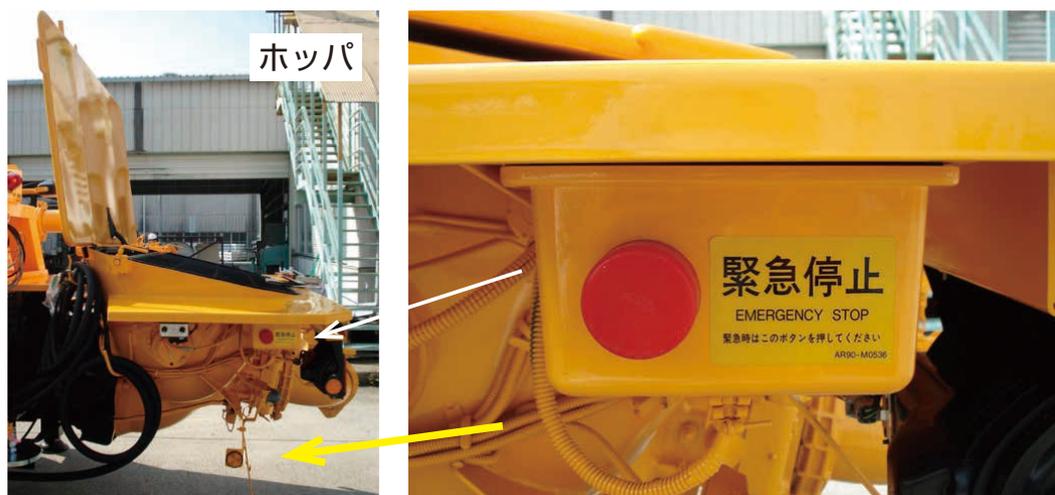


ホッパのアジテータに巻き込まれた災害例

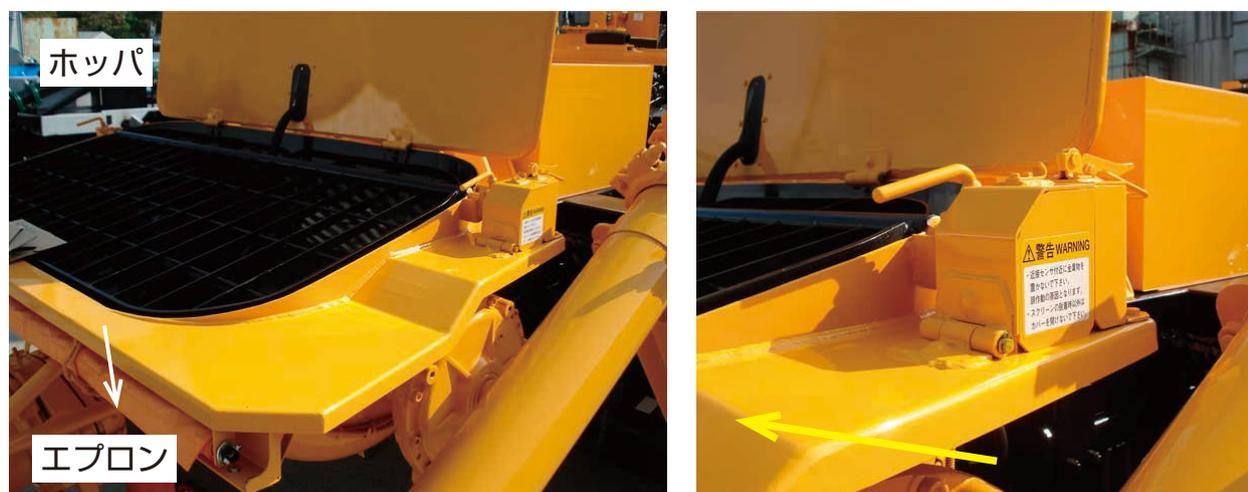
(5) 緊急停止装置

ホッパのアジテータ(かくはん羽根)に人が巻き込まれる災害が起きたときや、発生しそうになったとき、発見者がボタンを押すことでコンクリートポンプの作動を止めることができる緊急停止装置がホッパの側面につけられています。

また、アジテータに人が巻き込まれる災害を防止するため、ホッパスクリーンを開けるとアジテータだけを自動停止させる装置がホッパの脇(エプロン)に装備されています。



緊急停止装置の例

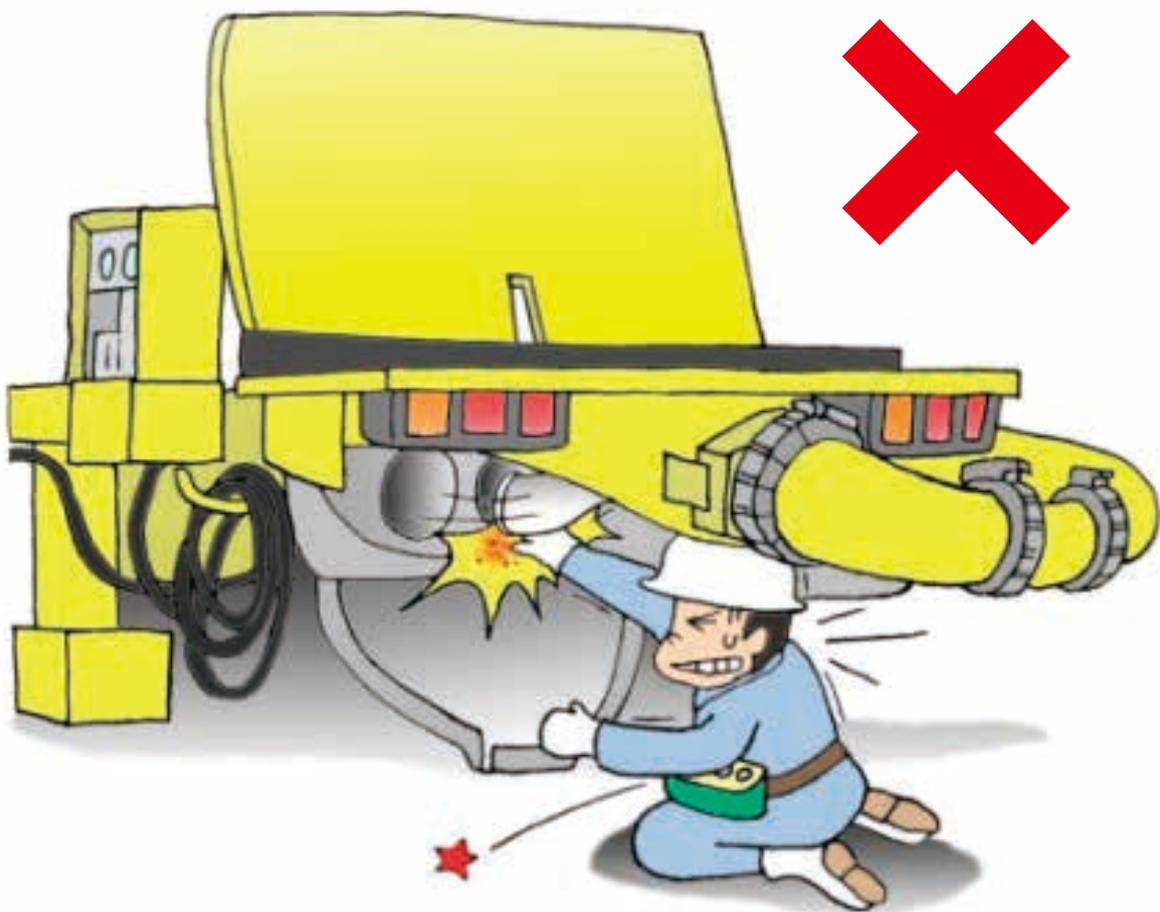


自動停止装置の例

(6) シリンダ洗浄時の注意

■ コンクリートバルブの洗浄作業では、誤作動による事故を防ぐため、必ずエンジンを止めて、リモコン装置を体から離してから行います。

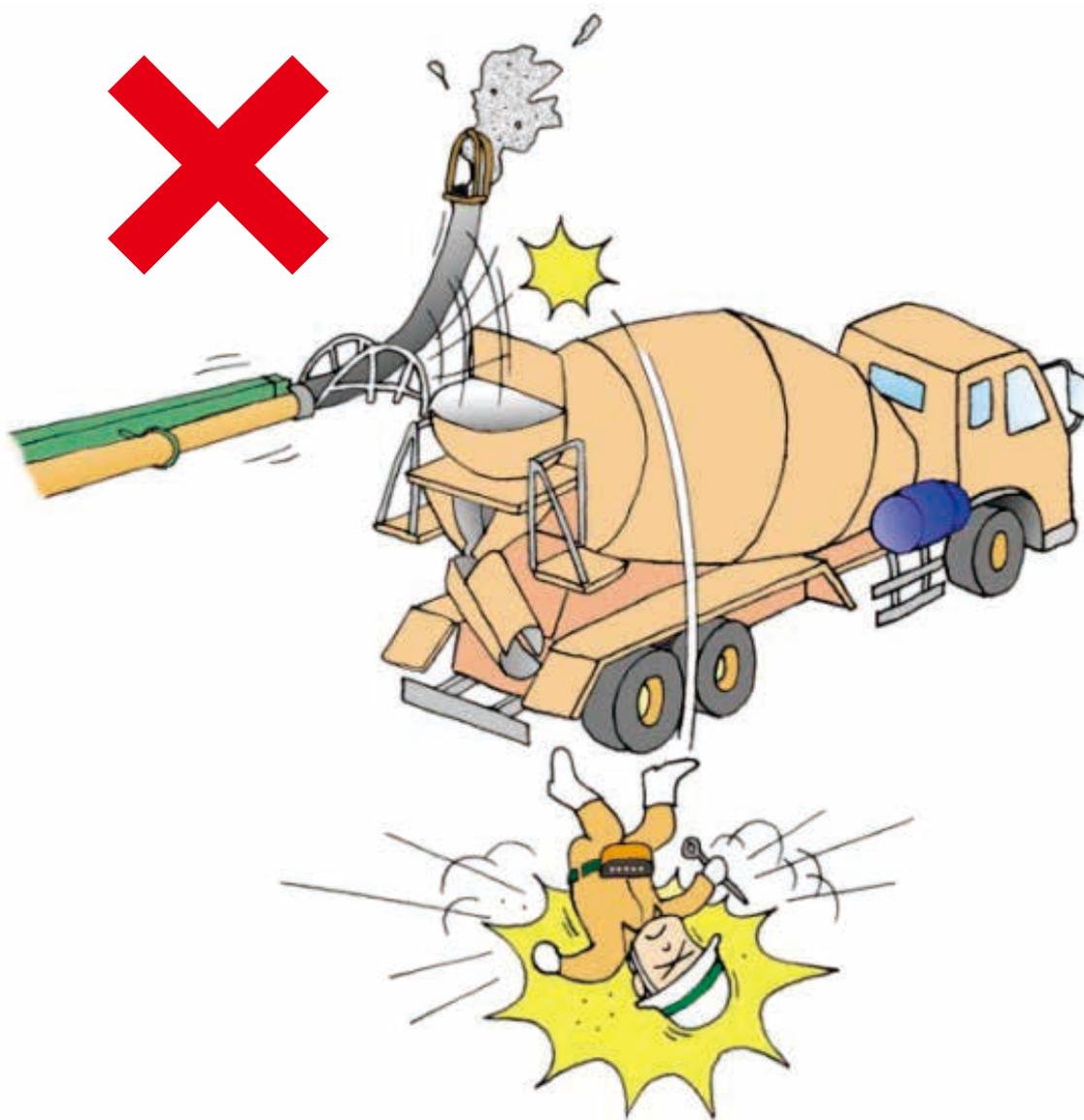
また、ピストン式コンクリートポンプ車のコンクリートシリンダ内には、絶対に手を入れてはいけません。手を入れていたときにバルブが誤作動を起こし、手や指をバルブ装置に挟まれて大ケガをする災害が発生しています。コンクリートシリンダ内には手を入れず、かきだし棒および高圧水を使用して洗い流すようにします。



シリンダ洗浄中に作動したバルブに手指を挟まれた災害例

(7) 生コン車上での作業時の注意

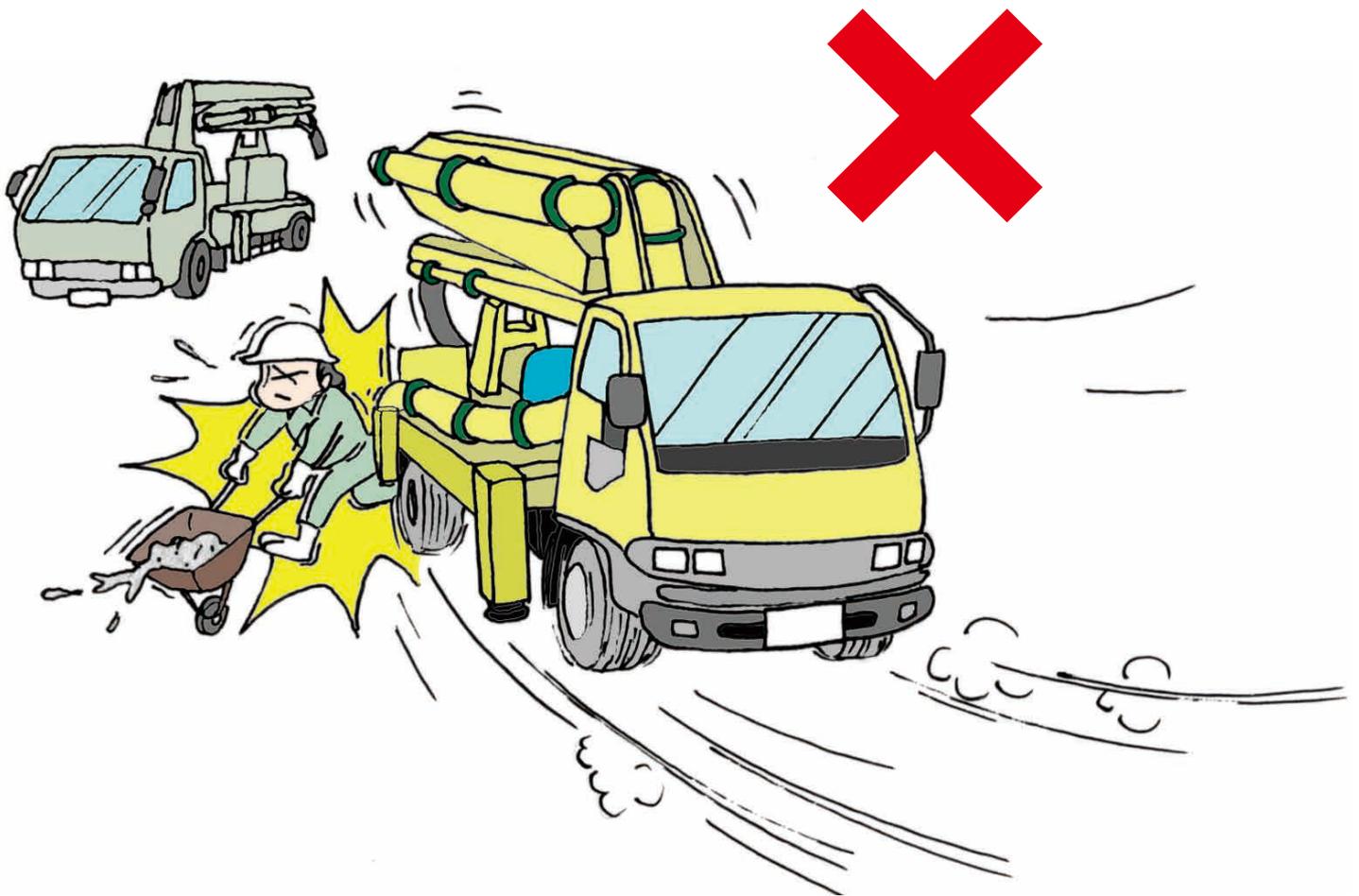
生コン車（トラックアジテータ）に残ったコンクリートを、水洗浄しながら返送するときに、生コン車のホッパ（投入口）に登る場合には、生コン車の上からの転落による災害を防ぐため、墜落制止用器具（安全帯）を必ず使用します。



トラックアジテータ上からの転落災害例

(8) コンクリートポンプ車の動線の確認

現場の敷地内や会社の駐車場など、物が多い場所、見通しが悪い場所、せまい場所ではコンクリートポンプ車の動線に注意し、交通事故を未然に防ぎましょう。



会社の駐車場でのコンクリートポンプ車による交通事故例